

「むかしの勉強・むかしの遊び」展

同展は、当館の収蔵資料の中から昭和30〜40年代のものを中心に、当時のまちの様子や学校生活、遊びなどを展示・再現しています。今回、特集として取り上げているのは、川越城下の西の玄関口の一つ、高澤橋です。

古くは赤間川と呼ばれた川（現新河岸川）に架かる高澤橋は、現在の橋が完成した昭和42年9月から数えて、今年でちょうど50年になります。川面に映った影も合わせると眼鏡のように見えることから「眼鏡橋」として親しまれたこの橋は、姿を変えても同じ愛称で呼ばれ続け、地域の人々を見守ってきました。

同展では高澤橋の移り変わりを通して、各時代の出来事や、私たちの生活と川との関わりを、当時の様子と共にご覧いただけます。ご来館お待ちしております。

期間：2月26日(日)まで
経費：入館料



現在の高澤橋



大正時代、鉄橋の高澤橋



明治時代の高澤橋(眼鏡橋)



農政課 ☎224-5939

ハウレンソウ

緑黄色野菜の代表ともいえるハウレンソウ。栄養豊富な野菜

で、β-カロテンやビタミンC、鉄分などを多く含みます。川越は県内でも有数の産地で、福原地区を中心に栽培が盛んです。

「おいしく作るために、温度の管理に気を配っています」と話すのは、福原地区で栽培をする石川忠男さん(中福)。温度が低いと育つのが遅れるため、種をまいた直後はビニールをかぶせて温めています。収穫前にはあえて寒さにさらしているとのこと。「寒さを感じると葉が厚くなり、うま味が凝縮されるので、冬場のものは特におい

しいですよ」と石川さん。緑が濃く、葉肉が厚く、軸が太いものがおすすめと教えてくれました。



おひたしや炒め物だけでなく、グラタンにしてもおいしいハウレンソウ。市内で採れたものは農産物直売所「福菜」などで購入できます。まだまだ寒い日が続きそうですが、栄養満点の川越産ハウレンソウを食べて健やかに冬を乗り切りましょう。

この時期に市内の直売所などで購入できる主な川越産野菜

ハウレンソウ、コマツナ、ブロッコリー、ニンジン、イチゴ、サトイモ、サニーレタス、ネギ、ハクサイ



観光案内は私たちにおまかせ

ませんね。紹介してくれるポットも紹介してくれませんか。皆さんがまだ知らない穴場スポットも紹介してくれませんか。皆さんがまだ知らない穴場スポットも紹介してくれませんか。皆さんがまだ知らない穴場スポットも紹介してくれませんか。



着物姿でお出迎え!

編集後記

どんぶり

ま

すます便利になったと聞き、本川越駅観光案内所に行ってきた。ここでは、1月19日から「手荷物一時預かりサービス」が始まりました。コインロッカーに入らない大きな荷物・スーツケースなどを預ける方や外国人の利用者も多いとのこと。多言語で対応できるスタッフが常駐しているため、日本人観光客はもちろん、外国人観光客も安心して川越観光を楽しめます。皆さんがまだ知らない穴場スポットも紹介してくれませんか。皆さんがまだ知らない穴場スポットも紹介してくれませんか。

☎ 広報川越1384

■発行日/平成29年2月10日(毎月10日・25日発行)

■発行/川越市 〒350-8601埼玉県川越市元町1丁目3-1 <http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>
市役所代表 ☎049-224-8811 ☎049-225-2171

■編集/広報室

私的利用の範囲を除き、記事や写真の無断転載を禁止します。

この印刷物は、グリーン購入法に適合する紙を使用し、印刷用の紙へ、リサイクルできます。

リサイクル適性®

Fontworks
UDFont